

## D 施設入所者調査



## I 調査結果

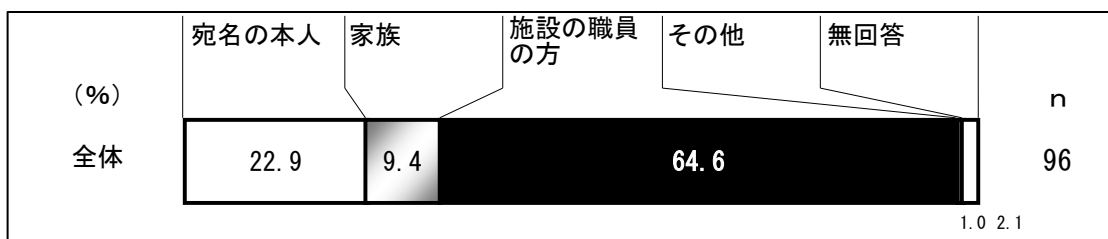
### 1 回答者について

#### (1) 回答者と対象者の同一性

問1 この用紙（調査票）に回答するのは誰ですか。

本調査の回答者は、「施設の職員の方」が64.6%、「宛名の本人」が22.9%、「家族」が9.4%、「その他」が1.0%となっている。

図表 D1-1-1 回答者（全体）



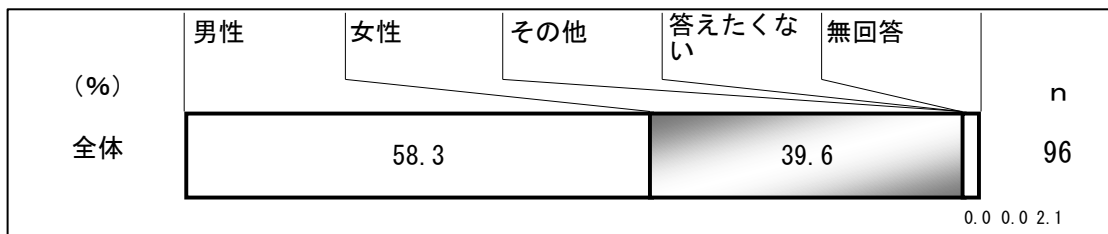
### 2 宛名の方自身のことについて

#### (1) 対象者の性別

問2 性別をご回答ください。

対象者の性別は、「男性」が58.3%、「女性」が39.6%、「その他」・「答えたくない」が回答なしとなっている。

図表 D2-1-1 対象者の性別（全体）



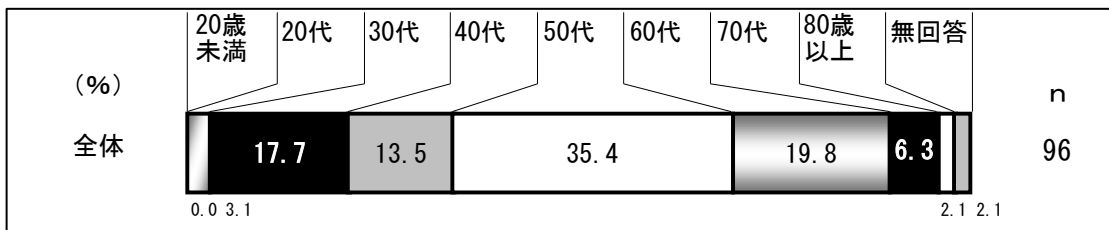
D 施設入所者調査

(2) 対象者の年齢

問3 年齢をご回答ください。

対象者の年齢は、「50代」が35.4%、「60代」が19.8%、「30代」が17.7%、「40代」が13.5%、「70代」が6.3%、「20代」が3.1%、「80歳以上」が2.1%、「20歳未満」が回答なしとなっている。

図表 D2-2-1 対象者の年齢（全体）



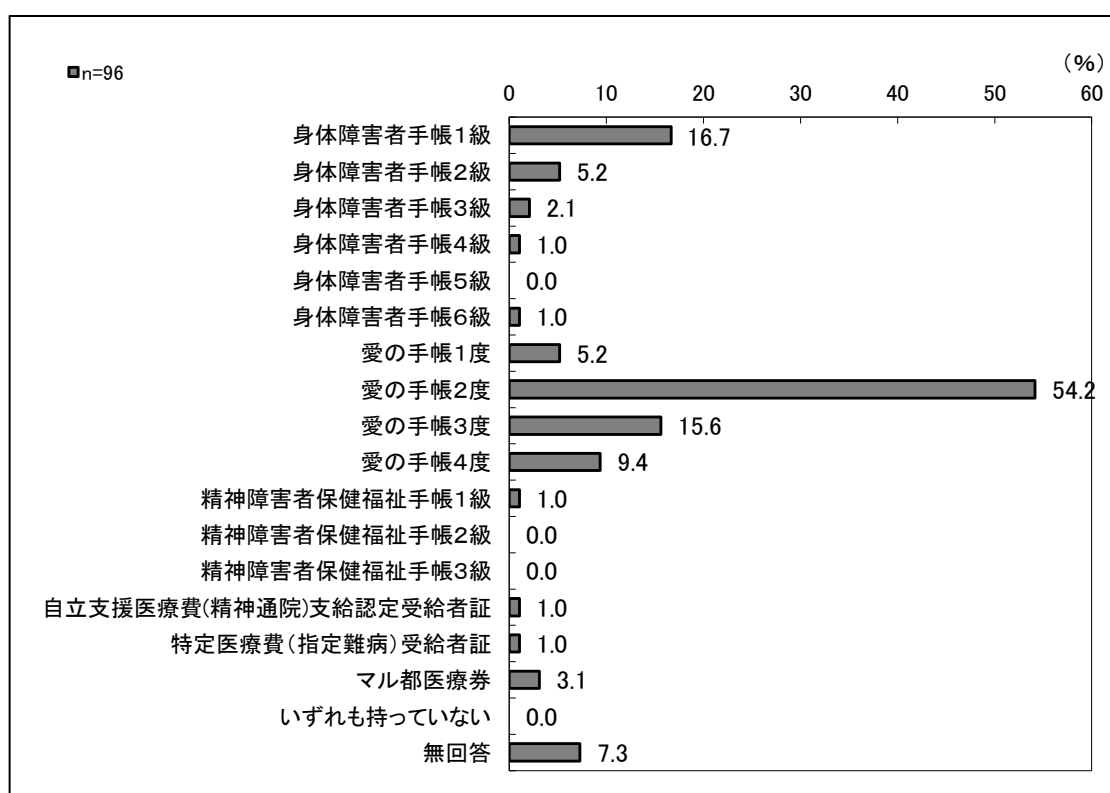
### 3 障がいの状況について

#### (1) 所持している障害者手帳等

問4 お持ちの手帳等は、どれですか。【複数回答】

所持している障害者手帳等は、「愛の手帳2度」が54.2%と最も回答が多く、「身体障害者手帳1級」が16.7%、「愛の手帳3度」が15.6%と続く。また、「いずれも持っていない」は回答なしとなっている。

図表 D3-1-1 所持している障害者手帳等（全体／複数回答）



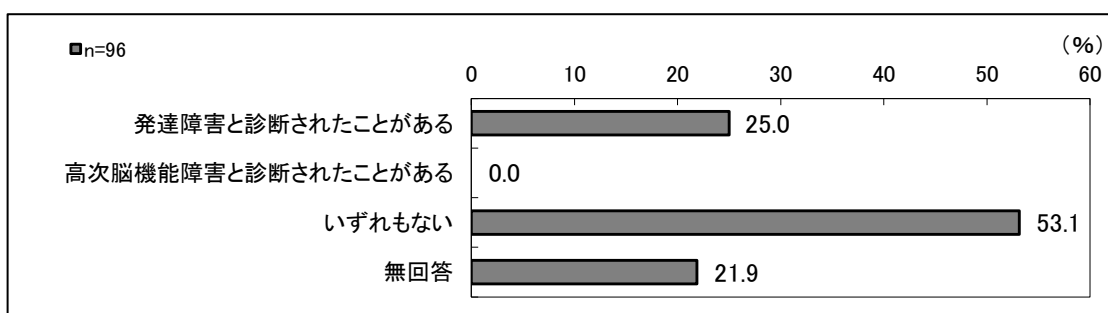
## D 施設入所者調査

### (2) 発達障害・高次脳機能障害の有無

問5 発達障害、高次脳機能障害と診断されたことはありますか。【複数回答】

発達障害・高次脳機能障害の有無は、「発達障害と診断されたことがある」が25.0%、「高次脳機能障害と診断されたことがある」が回答なしとなっている。また、「いずれもない」は53.1%となっている。

図表 D3-2-1 発達障害・高次脳機能障害の有無（全体／複数回答）



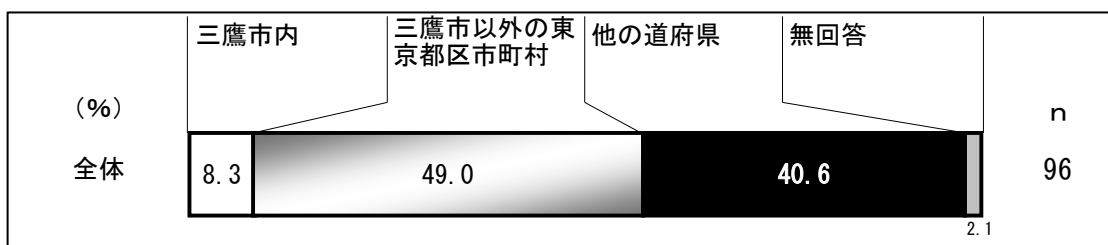
## 4 施設への入所について

### (1) 施設の所在地

問6 現在入所している施設の所在地はどこですか。

施設の所在地は、「三鷹市以外の東京都区市町村」が49.0%、「他の道府県」が40.6%、「三鷹市内」が8.3%となっている。

図表 D4-1-1 施設の所在地（全体）



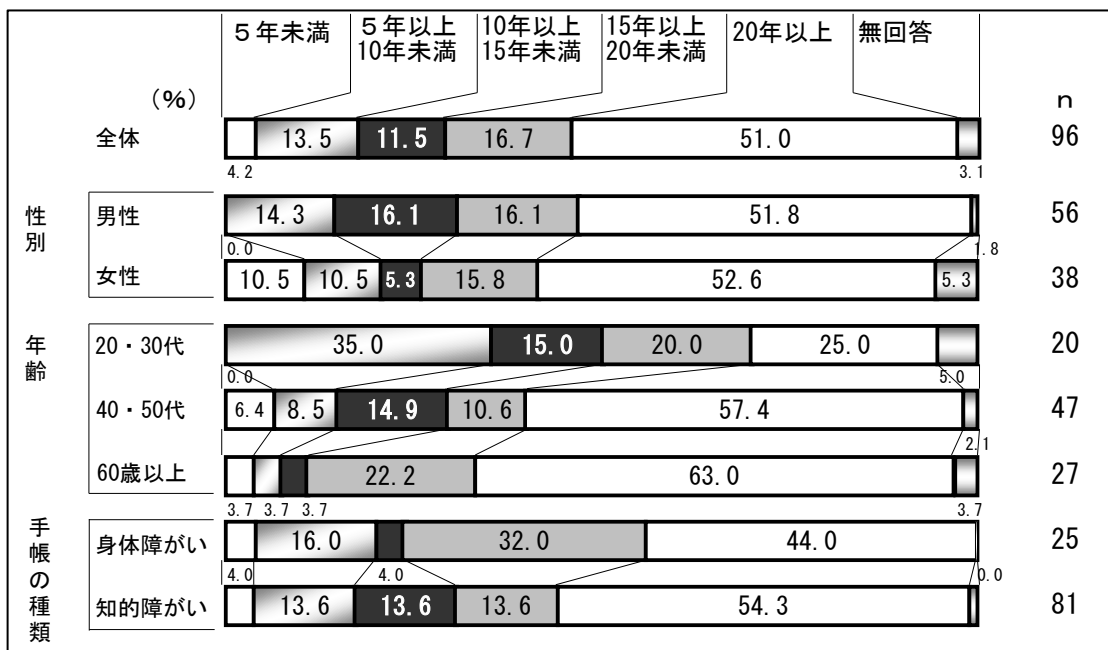
(2) 施設への入所期間

問7 現在の施設に入所してからの期間はどれですか。

- 施設への入所期間は、「20年以上」が51.0%となっている。

年齢で見ると、60歳以上では「20年以上」が63.0%となっている。

図表 D4-2-1 施設への入所期間（全体・性別・年齢・手帳の種類）



## D 施設入所者調査

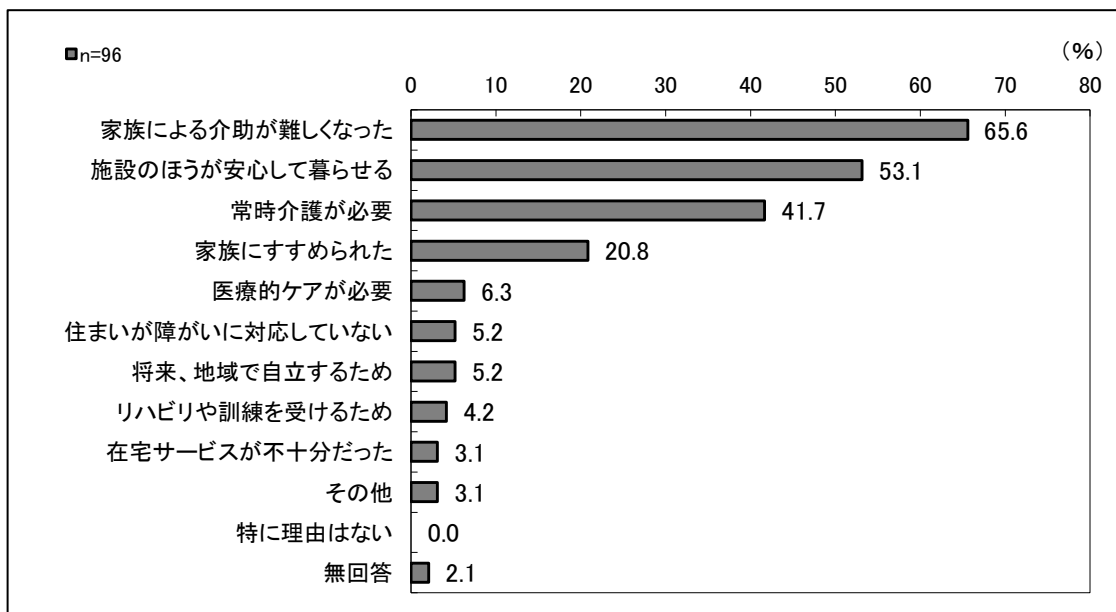
### (3) 施設への入所理由

問8 現在の施設へ入所している理由は何ですか。【複数回答】

- 施設への入所理由として「家族による介助が難しくなった」が 65.6%と最も回答が多く、「施設のほうが安心して暮らせる」が 53.1%と続く。

「特に理由はない」以外の回答についていずれの属性でも「家族による介助が難しくなった」が第1位となっている。身体障がいでは「常時介護が必要」と「家族による介助が難しくなった」が同率で第1位となっている。

図表 D4-3-1 施設への入所理由（全体／複数回答）





図表 D4-3-2 施設への入所理由（全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		家族による介助が難しくなった 65.6	施設のほうで安心して暮らせる 53.1	常時介護が必要 41.7
性別	男性	家族による介助が難しくなった 64.3	施設のほうで安心して暮らせる 60.7	常時介護が必要 44.6
	女性	家族による介助が難しくなった 68.4	施設のほうで安心して暮らせる 44.7	常時介護が必要 34.2
年齢	20・30代	家族による介助が難しくなった 70.0	施設のほうで安心して暮らせる 65.0	常時介護が必要 45.0
	40・50代	家族による介助が難しくなった 70.2	施設のほうで安心して暮らせる 48.9	常時介護が必要 44.7
	60歳以上	家族による介助が難しくなった 55.6	施設のほうで安心して暮らせる 55.6	常時介護が必要 29.6
手帳の種類	身体障がい	常時介護が必要／家族による介助が難しくなった 64.0		施設のほうで安心して暮らせる 44.0
	知的障がい	家族による介助が難しくなった 70.4	施設のほうで安心して暮らせる 54.3	常時介護が必要 43.2

## 5 施設での生活について

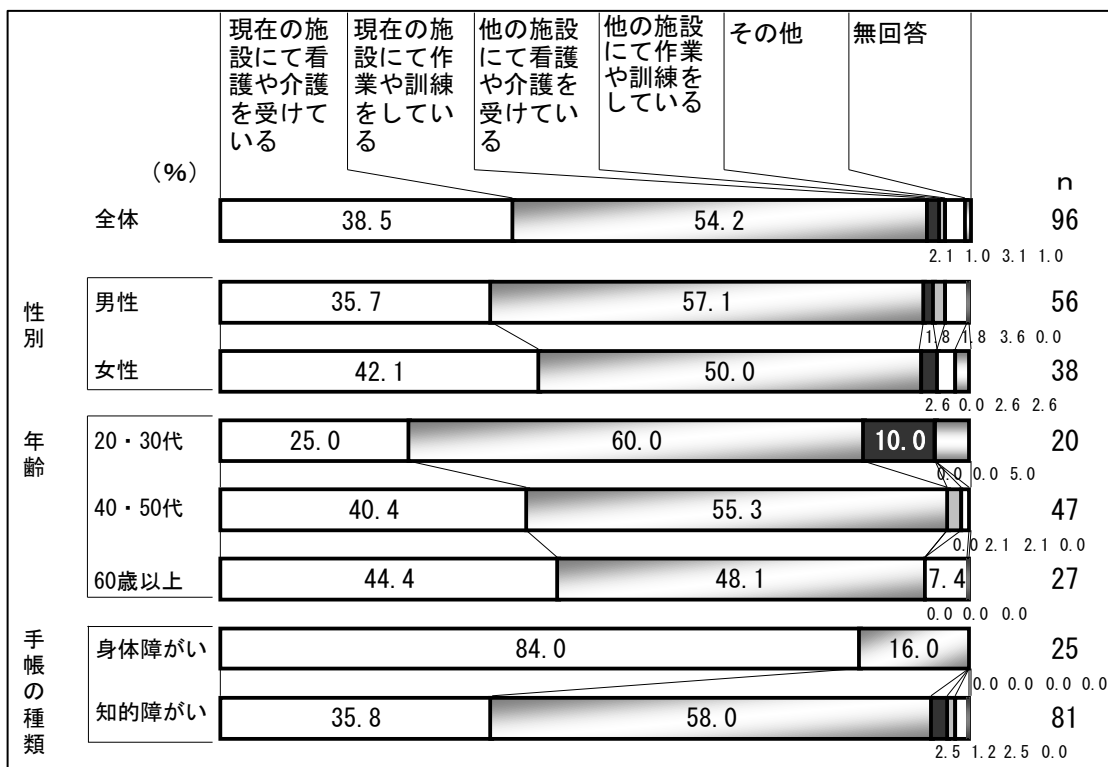
### (1) 平日（日中）の過ごす場所

問9 平日の日中をどのように過ごしていますか。

- 平日（日中）の過ごす場所は、「現在の施設にて作業や訓練をしている」が54.2%、「現在の施設にて看護や介護を受けている」が38.5%となっている。

年齢で見ると、高齢になるにつれ「現在の施設にて看護や介護を受けている」の割合が高くなっている。手帳の種類で見ると、身体障がいでは「現在の施設にて看護や介護を受けている」が8割強を占めている。

図表 D5-1-1 平日（日中）の過ごす場所（全体・性別・年齢・手帳の種類）



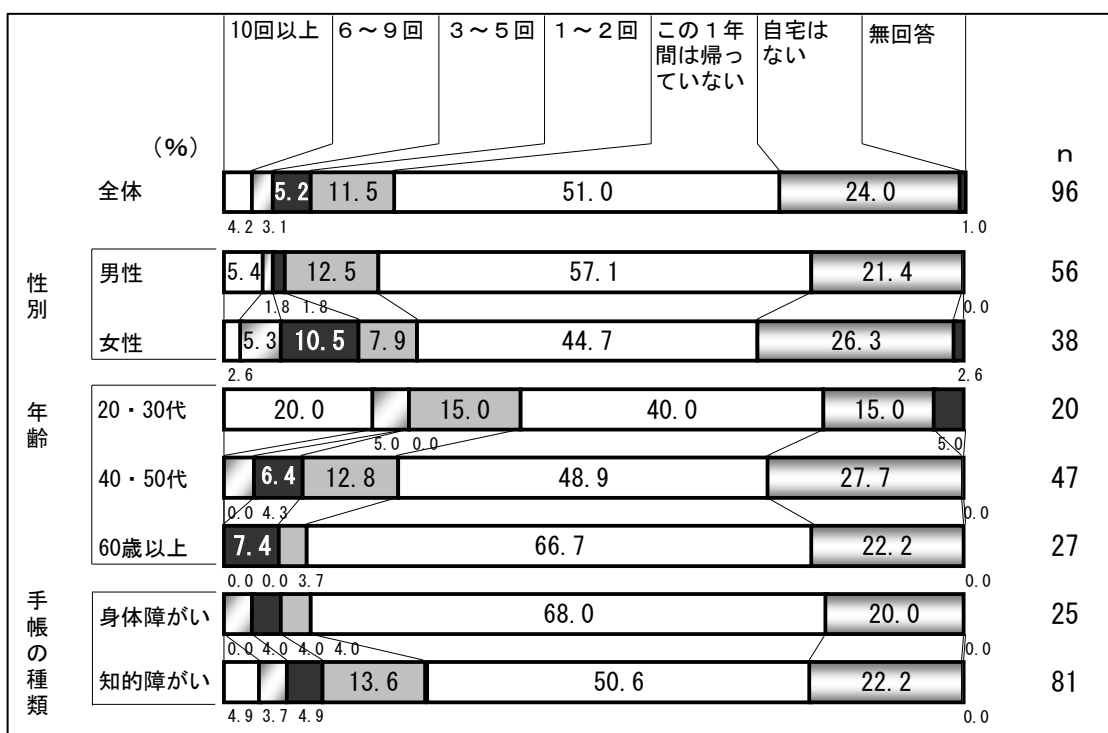
(2) 自宅への帰宅回数

問10 この1年間（令和3年10月～令和4年9月）で、自宅へ何回帰りましたか。

- 自宅への帰宅回数は、「この1年間は帰っていない」が51.0%、「1～2回」が11.5%となっている。

手帳の種類でみると、身体障がいでは「この1年間は帰っていない」は7割弱を占める。

図表 D5-2-1 自宅への帰宅回数（全体・性別・年齢・手帳の種類）



D 施設入所者調査

(3) 外出の頻度

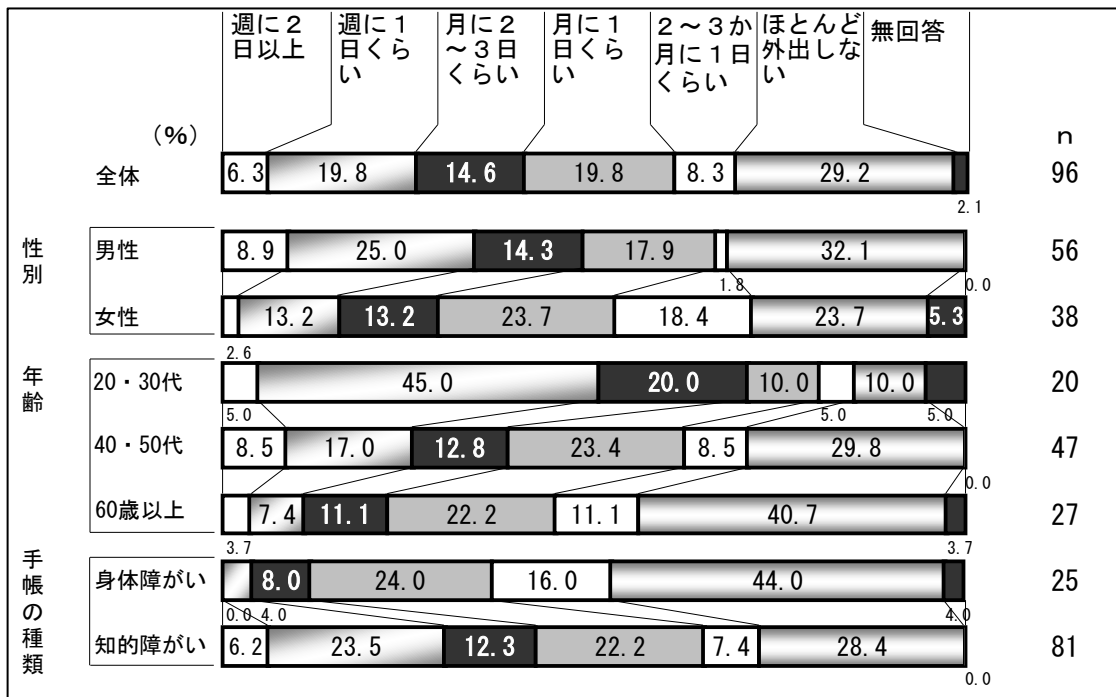
問 11 外出の頻度はどれくらいですか。施設の敷地内での散歩などは含めないでください。



- 外出の頻度は、「ほとんど外出しない」が29.2%となっている。

手帳の種類で見ると、身体障がいでは「ほとんど外出していない」が4割強を占める。

図表 D5-3-1 外出の頻度（全体・性別・年齢・手帳の種類）



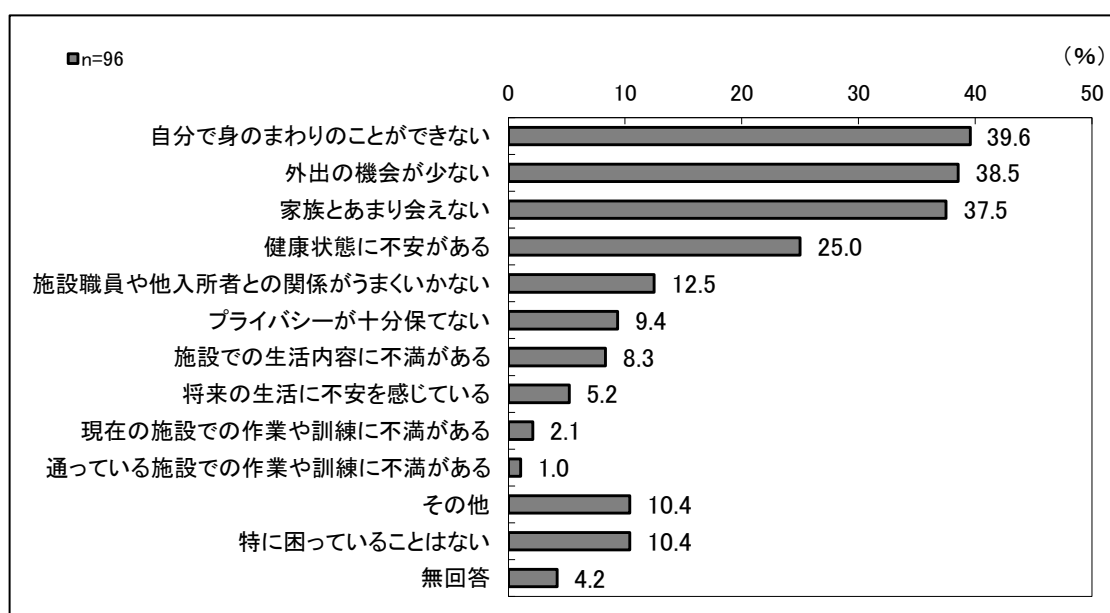
## (4) 日常生活での困りごと

問12 日常生活で困っていることは何ですか。【複数回答】

- 日常生活での困りごととして「自分で身のまわりのことができない」が39.6%と最も回答が多く、「外出の機会が少ない」が38.5%と続く。

「特に困っていることはない」以外の回答について性別で見ると、女性では「家族とあまり会えない」が第1位となっている。年齢で見ると、20・30代では「外出の機会が少ない」、40・50代では「自分で身のまわりのことができない」、60歳以上では「家族とあまり会えない」が第1位となっている。手帳の種類で見ると、身体障がいでは「自分で身のまわりのことができない」、知的障がいでは「家族とあまり会えない」が第1位となっている。

図表 D5-4-1 日常生活での困りごと（全体／複数回答）



D 施設入所者調査

図表 D5-4-2 日常生活での困りごと（全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
<b>全体</b>		自分で身のまわりのことができない 39.6	外出の機会が少ない 38.5	家族とあまり会えない 37.5
<b>性別</b>	<b>男性</b>	自分で身のまわりのことができない 48.2	外出の機会が少ない 39.3	家族とあまり会えない 33.9
	<b>女性</b>	家族とあまり会えない 44.7	外出の機会が少ない 39.5	自分で身のまわりのことができない 28.9
<b>年齢</b>	<b>20・30代</b>	外出の機会が少ない 55.0	自分で身のまわりのことができない 50.0	家族とあまり会えない 30.0
	<b>40・50代</b>	自分で身のまわりのことができない 38.3	外出の機会が少ない／家族とあまり会えない 36.2	
	<b>60歳以上</b>	家族とあまり会えない 48.1	自分で身のまわりのことができない 37.0	外出の機会が少ない 33.3
<b>手帳の種類</b>	<b>身体障がい</b>	自分で身のまわりのことができない 48.0	外出の機会が少ない 44.0	家族とあまり会えない 40.0
	<b>知的障がい</b>	家族とあまり会えない 40.7	自分で身のまわりのことができない／外出の機会が少ない 39.5	

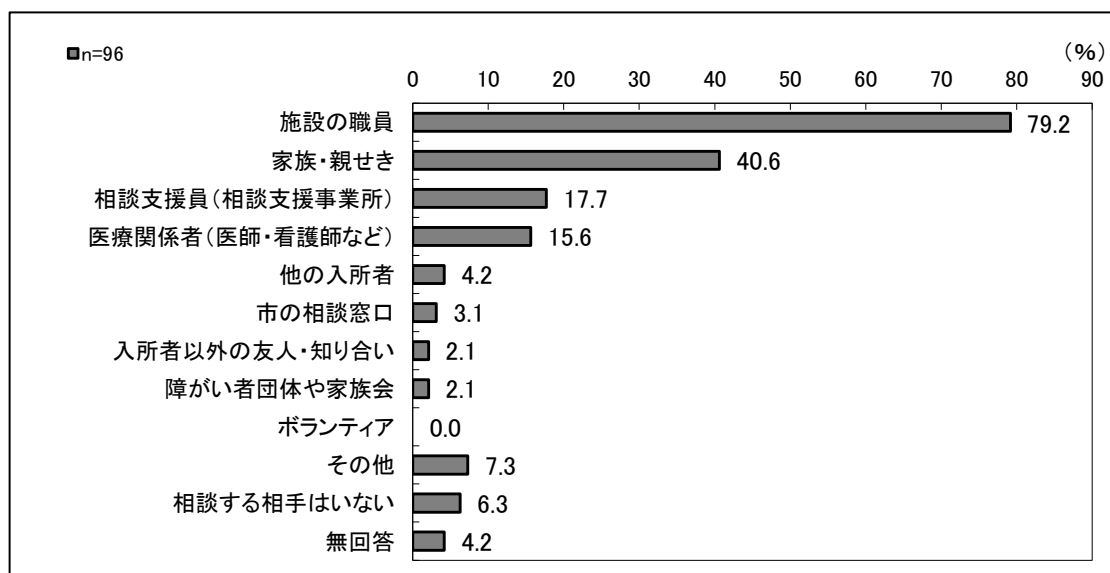
## (5) 相談できる人

問 13 日常生活や障がいのことなどで困った時に、相談できる人は誰ですか。【複数回答】

- 相談できる人として「施設の職員」が 79.2%と最も回答が多く、「家族・親せき」が 40.6%と続く。

「相談する相手はいない」以外の回答についていずれの属性でも「施設の職員」が第1位となっている。

図表 D5-5-1 相談できる人（全体／複数回答）



D 施設入所者調査

図表 D5-5-2 相談できる人（全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
<b>全体</b>		施設の職員 79.2	家族・親せき 40.6	相談支援員（相談支援事業所） 17.7
<b>性別</b>	<b>男性</b>	施設の職員 80.4	家族・親せき 37.5	医療関係者（医師・看護師など） 21.4
	<b>女性</b>	施設の職員 78.9	家族・親せき 47.4	相談支援員（相談支援事業所） 21.1
<b>年齢</b>	<b>20・30代</b>	施設の職員 75.0	家族・親せき 60.0	医療関係者（医師・看護師など） 15.0
	<b>40・50代</b>	施設の職員 80.9	家族・親せき 31.9	相談支援員（相談支援事業所） 21.3
	<b>60歳以上</b>	施設の職員 81.5	家族・親せき 44.4	医療関係者（医師・看護師など） 22.2
<b>手帳の種類</b>	<b>身体障がい</b>	施設の職員 72.0	家族・親せき 36.0	相談支援員（相談支援事業所） 20.0
	<b>知的障がい</b>	施設の職員 79.0	家族・親せき 42.0	相談支援員（相談支援事業所） 18.5



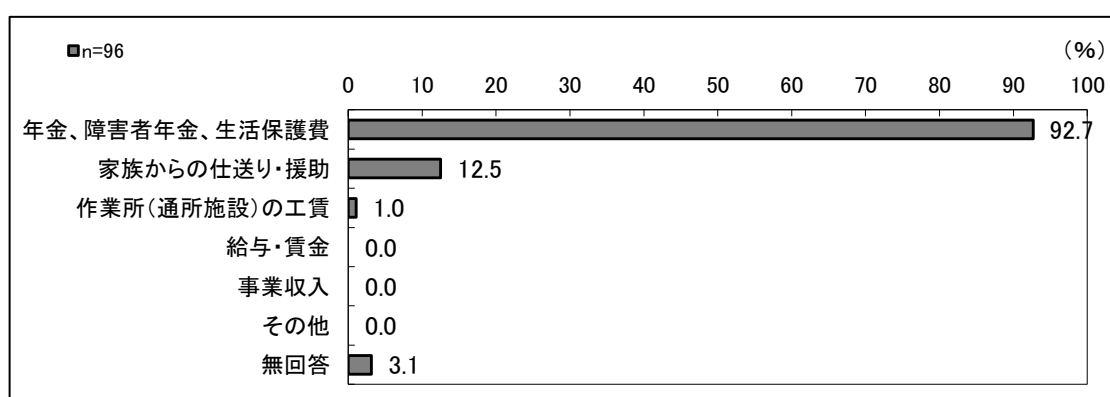
(6) 主な収入

問 14 現在、あなたの生活を支えている主な収入は何ですか。【複数回答】

- 主な収入として「年金、障害者年金、生活保護費」が 92.7%と最も回答が多く、「家族からの仕送り・援助」が 12.5%と続く。

いずれの属性でも「年金、障害者年金、生活保護費」が第1位となっている。

図表 D5-6-1 主な収入（全体／複数回答）



図表 D5-6-2 主な収入（全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答）

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
<b>全体</b>		年金、障害者年金、生活保護費 92.7	家族からの仕送り・援助 12.5	作業所（通所施設）の工賃 1.0
<b>性別</b>	<b>男性</b>	年金、障害者年金、生活保護費 91.1	家族からの仕送り・援助 10.7	作業所（通所施設）の工賃 1.8
	<b>女性</b>	年金、障害者年金、生活保護費 97.4	家族からの仕送り・援助 15.8	
<b>年齢</b>	<b>20・30代</b>	年金、障害者年金、生活保護費 95.0	家族からの仕送り・援助 15.0	
	<b>40・50代</b>	年金、障害者年金、生活保護費 95.7	家族からの仕送り・援助 6.4	作業所（通所施設）の工賃 2.1
	<b>60歳以上</b>	年金、障害者年金、生活保護費 88.9	家族からの仕送り・援助 22.2	
<b>手帳の種類</b>	<b>身体障がい</b>	年金、障害者年金、生活保護費 88.0	家族からの仕送り・援助 8.0	
	<b>知的障がい</b>	年金、障害者年金、生活保護費 92.6	家族からの仕送り・援助 12.3	作業所（通所施設）の工賃 1.2

## D 施設入所者調査

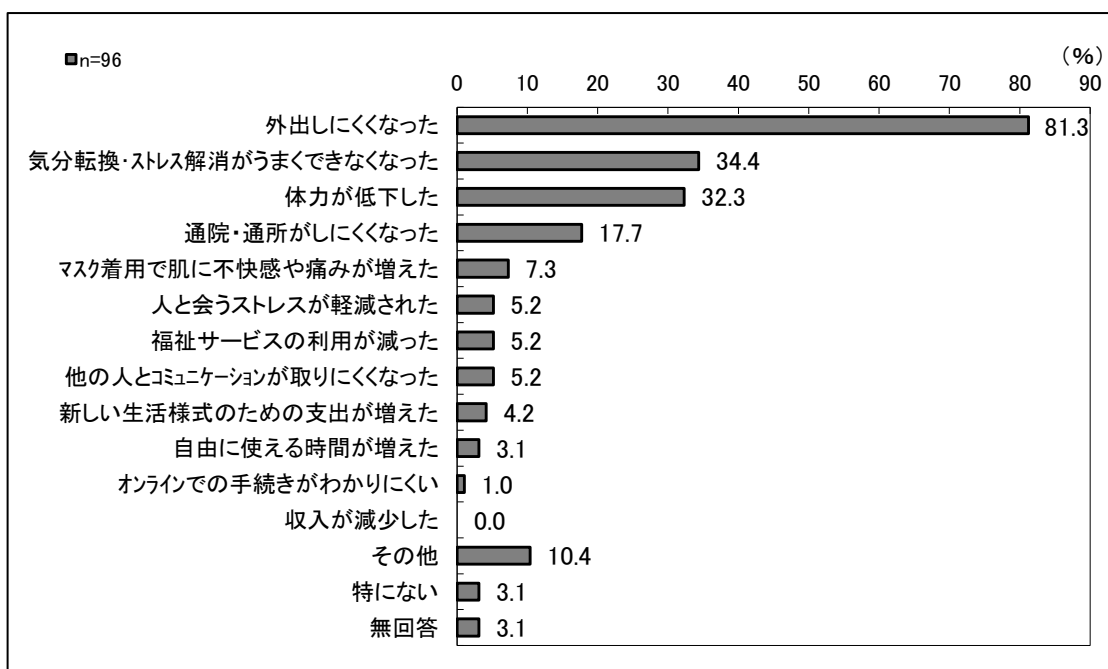
### (7) 新型コロナウイルスの拡大で生じた生活の変化

問 15 新型コロナウイルス感染症 (Covid-19) の拡大に伴い、どのような生活の変化がありましたか。【複数回答】

- 新型コロナウイルスの拡大で生じた生活の変化として「外出しにくくなった」が 81.3%と最も回答が多く、「気分転換・ストレス解消がうまくできなくなった」が 34.4%と続く。

「特にない」以外の回答についていずれの属性でも「外出しにくくなった」が第1位となっている。

図表 D5-7-1 新型コロナウイルスの拡大で生じた生活の変化 (全体/複数回答)



図表 D5-7-2 新型コロナウイルスの拡大で生じた生活の変化

(全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
<b>全体</b>		外出しにくくなった 81.3	気分転換・ストレス解消が うまくできなくなった 34.4	体力が低下した 32.3
<b>性別</b>	<b>男性</b>	外出しにくくなった 82.1	気分転換・ストレス解消が うまくできなくなった 32.1	体力が低下した 32.1
	<b>女性</b>	外出しにくくなった 81.6	気分転換・ストレス解消が うまくできなくなった 36.8	体力が低下した 31.6
<b>年齢</b>	<b>20・30代</b>	外出しにくくなった 90.0	気分転換・ストレス解消が うまくできなくなった 35.0	体力が低下した 30.0
	<b>40・50代</b>	外出しにくくなった 76.6	気分転換・ストレス解消が うまくできなくなった 38.3	体力が低下した 29.8
	<b>60歳以上</b>	外出しにくくなった 85.2	体力が低下した 37.0	気分転換・ストレス解消が うまくできなくなった 25.9
<b>手帳の種類</b>	<b>身体障がい</b>	外出しにくくなった 84.0	気分転換・ストレス解消が うまくできなくなった 36.0	体力が低下した 36.0
	<b>知的障がい</b>	外出しにくくなった 79.0	気分転換・ストレス解消が うまくできなくなった 32.1	体力が低下した 30.9

## 6 将来の生活について

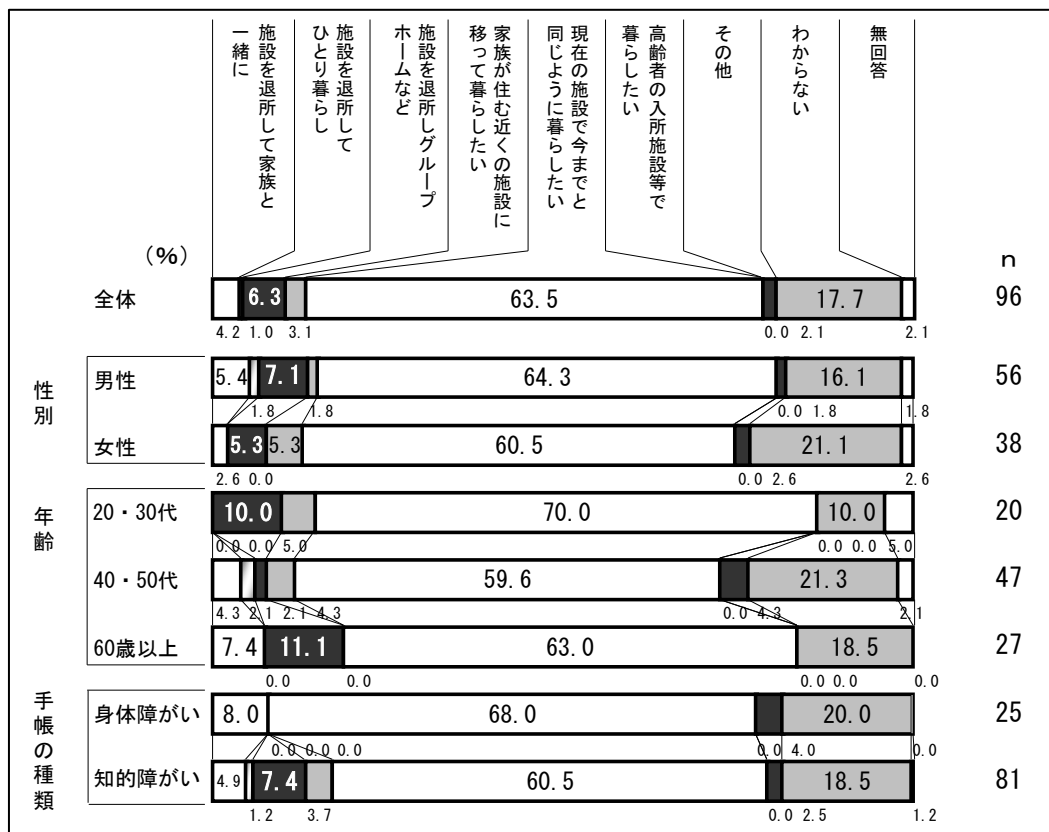
### (1) 希望する暮らし方

問 16 あなたは、将来どのような生活をしたいですか。

- 希望する暮らし方は、「現在の施設で今までと同じように暮らしたい」が 63.5%となっている。また、「わからない」は 17.7%となっている。

年齢で見ると、20・30代では「現在の施設で今までと同じように暮らしたい」が 70.0%となっている。

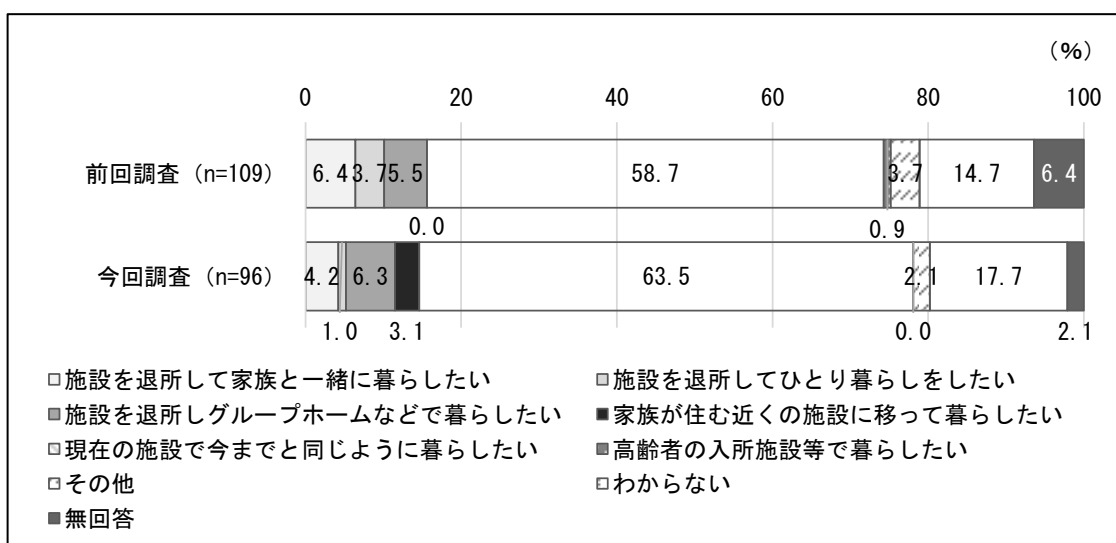
図表 D6-1-1 希望する暮らし方（全体・性別・年齢・手帳の種類）



◆前回調査（令和元年度実施）との比較

前回調査（令和元年度実施）では、「施設を退所して家族と一緒に暮らしたい」が6.4%、「施設を退所してひとり暮らしをしたい」が3.7%、「施設を退所しグループホームなどで暮らしたい」が5.5%となっており、これらを合わせた退所希望がある人は全体の15.6%となっている。今回調査では「施設を退所して家族と一緒に暮らしたい」が4.2%、「施設を退所してひとり暮らしをしたい」が1.0%、「施設を退所しグループホームなどで暮らしたい」が6.3%となっており、これらを合わせた退所希望がある人は全体の11.5%と、前回調査よりも低下している<sup>3</sup>。

図表 D6-1-2 前回調査との比較



<sup>3</sup> 今回調査で「家族が住む近くの施設に移って暮らしたい」を追加したため、前回調査における当該選択肢の割合は0.0%と表示している。

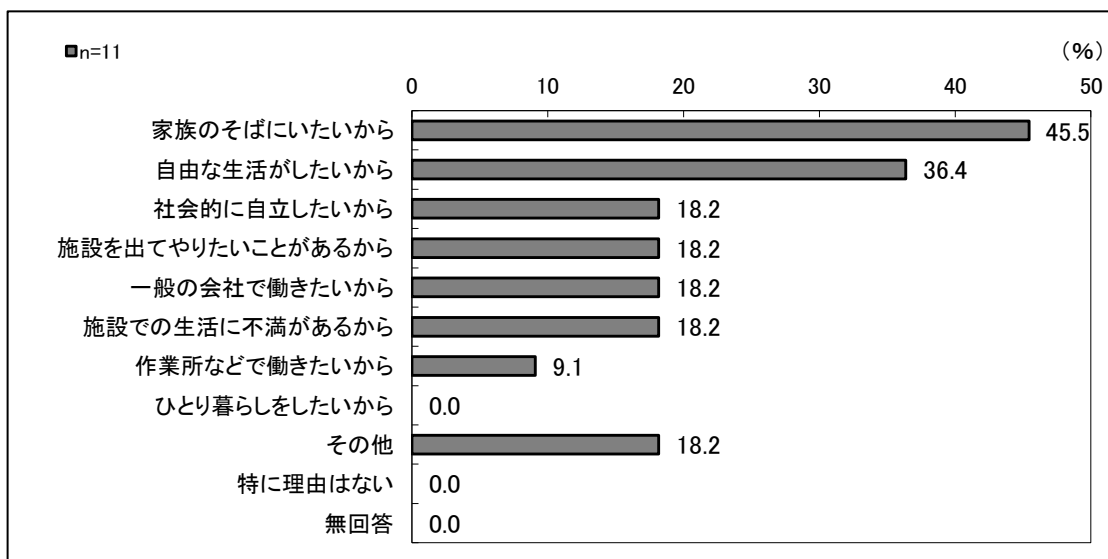
## D 施設入所者調査

### (2) 退所したい理由

※問 16 で退所したいと回答した方にお聞きします。  
問 16-1 施設を退所したいと思う理由は何ですか。【複数回答】

- 退所したい理由は、「家族のそばにいたいから」が 45.5%と最も回答が多く、「自由な生活がしたいから」が 36.4%と続く。

図表 D6-2-1 退所したい理由（全体／複数回答）



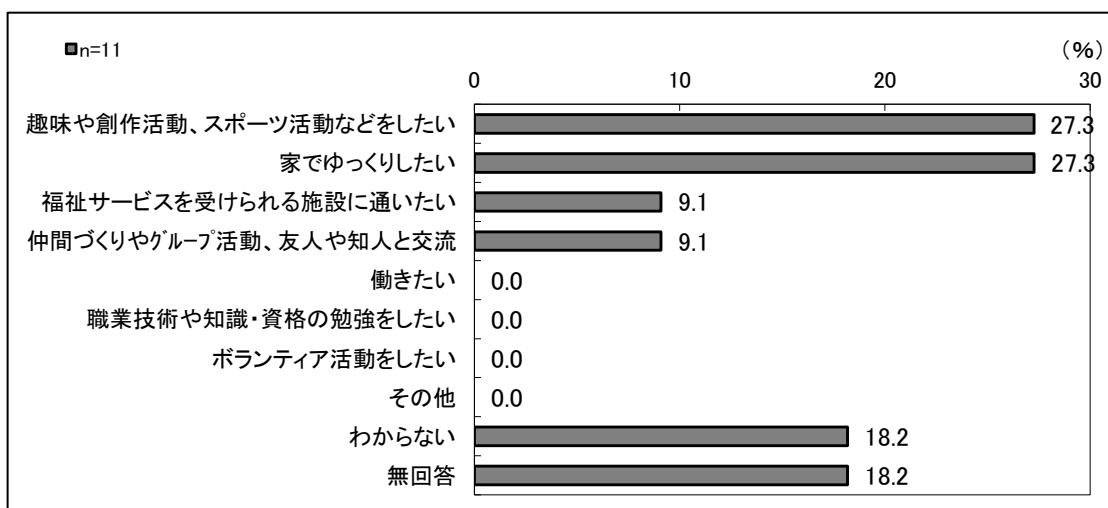
## (3) 退所後の日中の過ごし方

※問 16 で退所したいと回答した方にお聞きします。

問 16-2 施設を退所したら、日中はどのように過ごしたいですか。【複数回答】

- 退所後の日中の過ごし方は、「趣味や創作活動、スポーツ活動などをしてほしい」・「家でゆっくりしたい」が同率で 27.3%と最も回答が多く、「福祉サービスを受けられる施設に通いたい」・「仲間づくりやグループ活動、友人や知人と交流」が同率で 9.1%と続く。

図表 D6-3-1 退所後の日中の過ごし方（全体／複数回答）



## D 施設入所者調査

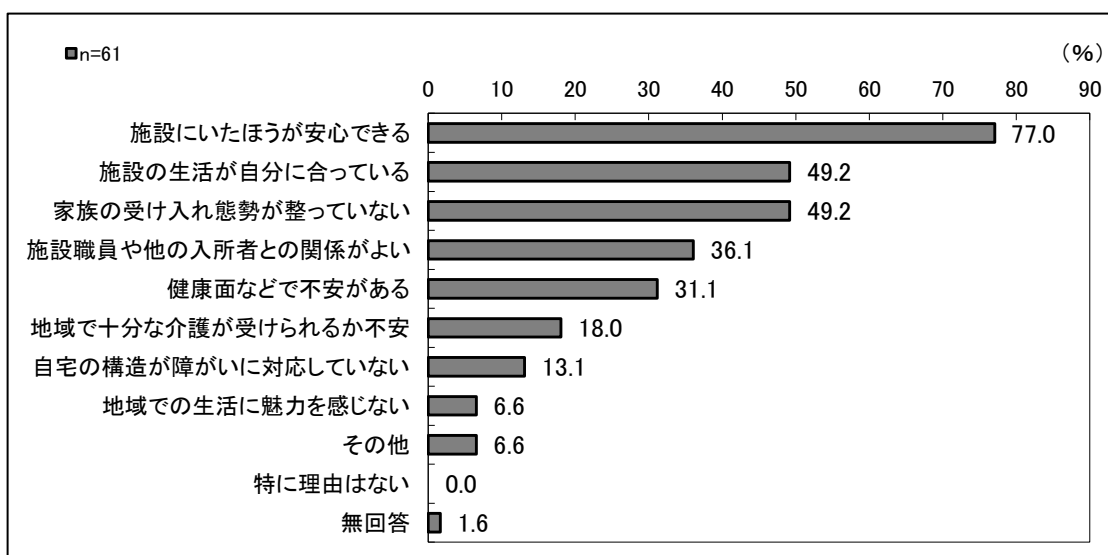
### (4) 施設での生活を希望する理由

※問 16 で現在の施設で生活したいと回答した方にお聞きします。  
問 16-3 今の施設での生活を続けたいと思う理由は何ですか。【複数回答】

- 「施設にいたほうが安心できる」が 77.0%と最も回答が多く、「施設の生活が自分に合っている」・「家族の受け入れ態勢が整っていない」が同率で 49.2%と続く。

「特に理由はない」以外の回答についていずれの属性でも「施設にいたほうが安心できる」が第1位となっている。

図表 D6-4-1 施設での生活を希望する理由（全体／複数回答）





I 調査結果 6 将来の生活について

図表 D6-4-2 施設での生活を希望する理由（全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		施設にいたほうが安心できる 77.0	施設の生活が自分に合っている 49.2	家族の受け入れ態勢が整っていない 49.2
性別	男性	施設にいたほうが安心できる 75.0	家族の受け入れ態勢が整っていない 52.8	施設の生活が自分に合っている 50.0
	女性	施設にいたほうが安心できる 82.6	施設の生活が自分に合っている 47.8	家族の受け入れ態勢が整っていない 43.5
年齢	20・30代	施設にいたほうが安心できる 78.6	家族の受け入れ態勢が整っていない 64.3	施設の生活が自分に合っている 57.1
	40・50代	施設にいたほうが安心できる 75.0	家族の受け入れ態勢が整っていない 64.3	施設の生活が自分に合っている 50.0
	60歳以上	施設にいたほうが安心できる 82.4	施設の生活が自分に合っている 41.2	施設職員や他の入所者との関係がよい 35.3
手帳の種類	身体障がい	施設にいたほうが安心できる 64.7	施設の生活が自分に合っている 47.1	健康面などで不安がある／家族の受け入れ態勢が整っていない 41.2
	知的障がい	施設にいたほうが安心できる 75.5	家族の受け入れ態勢が整っていない 53.1	施設の生活が自分に合っている 46.9

## D 施設入所者調査

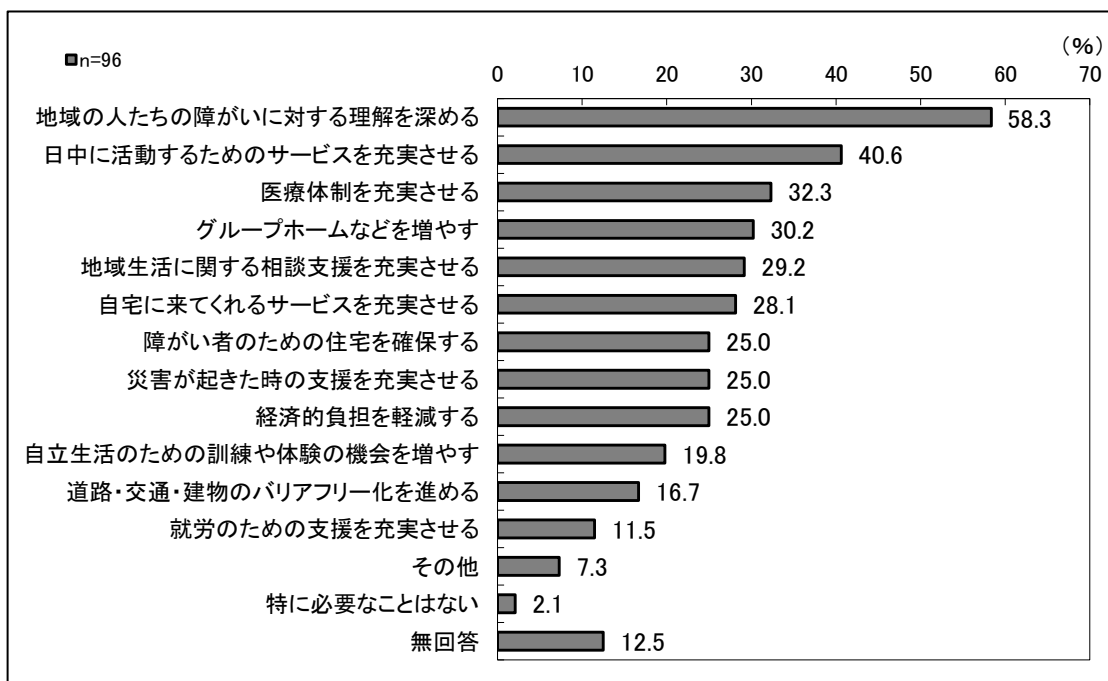
### (5) 障がい者が地域での生活をする上で必要なこと

問 17 障がいのある人が地域で生活していくために必要だと思うことは何ですか。  
【複数回答】

- 障がい者が地域での生活をする上で必要なこととして「地域の人たちの障がいに対する理解を深める」が 58.3%と最も回答が多く、「日中に活動するためのサービスを充実させる」が 40.6%と続く。

「特に必要なことはない」以外の回答についていずれの属性でも「地域の人たちの障がいに対する理解を深める」が第1位となっている。

図表 D6-5-1 障がい者が地域での生活をする上で必要なこと（全体／複数回答）



図表 D6-5-2 障がい者が地域での生活をする上で必要なこと  
 (全体・性別・年齢・手帳の種類／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
<b>全体</b>		地域の人たちの障がいに対する理解を深める 58.3	日中に活動するためのサービスを充実させる 40.6	医療体制を充実させる 32.3
<b>性別</b>	<b>男性</b>	地域の人たちの障がいに対する理解を深める 58.9	日中に活動するためのサービスを充実させる 46.4	グループホームなどを増やす 33.9
	<b>女性</b>	地域の人たちの障がいに対する理解を深める 60.5	医療体制を充実させる 39.5	日中に活動するためのサービスを充実させる 34.2
<b>年齢</b>	<b>20・30代</b>	地域の人たちの障がいに対する理解を深める 75.0	日中に活動するためのサービスを充実させる 60.0	地域生活に関する相談支援を充実させる／医療体制を充実させる／災害が起きた時の支援を充実させる 40.0
	<b>40・50代</b>	地域の人たちの障がいに対する理解を深める 63.8	日中に活動するためのサービスを充実させる／グループホームなどを増やす 36.2	
	<b>60歳以上</b>	地域の人たちの障がいに対する理解を深める 40.7	日中に活動するためのサービスを充実させる 37.0	医療体制を充実させる 33.3
<b>手帳の種類</b>	<b>身体障がい</b>	地域の人たちの障がいに対する理解を深める 48.0	日中に活動するためのサービスを充実させる 40.0	医療体制を充実させる 36.0
	<b>知的障がい</b>	地域の人たちの障がいに対する理解を深める 63.0	日中に活動するためのサービスを充実させる 43.2	医療体制を充実させる 34.6

## 7 自由意見

### (1) 自由意見

掲載にあたっては個人を特定できるもの等を除き、出来る限り原文に近い表記で掲載している。

- 定期的に担当ワーカーの人に、会いに来てもらえると嬉しい。(60代・身体, 知的)
- GH…半施設的な居住地があると、施設でなくても良い、障がい者が地域で暮らせませす。(50代・知的)
- 財政の確保。(70代・知的)
- 入所の方は、軒並み高齢・虚弱化が進み、介護支援がますます高まっています。ケガや事故も増え、かつては身体拘束と言われた(今もですが) ベッド4点柵や車椅子ベルトの必要性(安全のため)へのご理解、よろしく願いいたします。(50代・身体, 知的)
- 施設入所している人が、週末等にガイドヘルパーのサービスを受けられるようにしてもらいたい。(30代・知的)
- 旅行に行きたい(補助金)。イギリス、韓国。(50代・知的)
- 週末にガイドヘルパー利用ができるようにしてほしい。(30代・知的)
- 人手不足が厳しいです。ありがとう御座いました。(60代・身体)
- 安心して退所できる体制について、どのような変化があったのか教えて下さい(入所施設職員)。(50代・身体, 知的)
- 家族の両親も高齢化になり、親が死亡したらどうなるのかが、今後の生活がとても不安です。今施設に入所していますが、今後も入所していただけるのかがとても不安です。今後本人が高齢になったらどうなるのかも不安です。以上の事を考えると親としてどうしたらよいのでしょうか？(70代・知的)